

令和5年度
教育委員会点検・評価報告書
(令和4年度事業対象)

令和5年7月
浦添市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)の一部改正により、平成20年度から、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価の報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

これを受け、本市教育委員会においても平成20年度から点検・評価を行い、その報告書を作成し、市議会に提出するとともに、本市ホームページ上において公表しております。

令和5年度においても点検評価を実施いたします。

本報告書は、令和4年度において実施した事業の中から、重点施策と位置づける事業について、点検・評価を実施し、報告書としてまとめたものです。

ぜひ、ご一読いただき、本市教育委員会の取組にご理解を賜るとともに、ご意見、ご指導を頂くことができれば幸いに存じます。

令和5年7月

浦添市教育委員会

教育長 銘 苅 健

職務代理者 手登根 雄次

委員 下地 イツ子

委員 宮城 靖

目 次

I 点検・評価制度の概要	1
1 経緯	
2 目的	
3 学識経験者の知見の活用	
4 点検・評価の方法	
II 本市教育委員会の点検・評価の方法	2
1 対象となる事業の考え方	
2 点検・評価の様式	
3 点検・評価書の見方	
4 学識経験者の知見の活用	
III 教育委員会点検・評価書	
1 教育委員の活動評価	4
(1) 概要	
(2) 名簿	
(3) 教育委員の活動状況	
(4) 教育委員の活動自己評価	
2 教育長への委任事務評価	
点検評価対象事業一覧	6
(1) 社会教育 (No.1 ~No. 4)	
(2) 文化芸術 (No.5 ~No. 6)	
(3) 学校教育 (No.7 ~No.12)	
資 料	
1 教育委員会会議における議案等一覧	(1)
2 教育委員の活動状況	(4)
3 教育長の活動状況	(6)

点検・評価を終えて

I 点検・評価制度の概要

1 経緯

平成 18 年 12 月の教育基本法の改正及び平成 19 年 3 月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成 19 年 6 月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が改正され、平成 20 年 4 月から施行されました。

地教行法改正の趣旨の大きな柱のひとつが「教育委員会の責任体制の明確化」であり、その趣旨に沿って今回の点検評価制度が導入されたものです。

これに伴い、教育委員会はその権限に属する事務について、点検・評価を行うことが義務づけられ、さらにその結果を議会に提出し、公表しなければならないこととされました。

2 目的

教育委員会は、首長から独立した合議制の執行機関であり、学校教育、社会教育、文化、スポーツ等の幅広い教育に関する事務を所掌しておりますが、この所掌する事務が適正かつ効果的に執行されているかについては、自らが事後チェックすることが重要であると考えられました。

今回の地教行法の改正に伴う点検・評価制度の導入により、効果的な教育行政の推進に資するとともに、その結果を議会に提出し、公表することとします。

3 学識経験者の知見の活用

学識経験者の知見の活用は、点検・評価の客観性を確保するためのものです。評価の方法や結果について教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取する機会を設けます。

4 点検・評価の方法

点検・評価の具体的な方法について、国が基準を定めることはありません。点検・評価の項目や指標、議会への報告や公表の方法については、各教育委員会が実情を踏まえて決定することとなります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（平成 20 年 4 月 1 日施行）

II 本市教育委員会の点検・評価の方法

1 対象となる事業の考え方

教育委員会の点検・評価の対象は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により「教育委員会自ら管理・執行する事務」と「教育委員会から教育長に委任されている事務」となっております。

教育長への委任事務の点検については、義務的、経常的なものを除き、重点施策と位置づける事業について行うこととし、令和4年度は12の事業を精選し、点検・評価を行いました。

2 点検・評価の様式

本市が平成 29 年度より新教育委員会制度へ移行したことに伴い、「教育委員の活動」は、それまでの評価方式を改め、新制度の趣旨に沿って3つの項目で自己評価を行っております。

「教育長への委任事務」については、事業の自己評価に対する有識者の意見を付しております。

3 点検・評価書の見方

(1) 「教育委員の活動」

一年間の教育委員の活動を3段階評価で自己点検しました。

(2) 「教育長への委任事務」

- ① 「事業名」は、原則として予算上の事業名を引用してあります。
- ② 「事業概要」は、各事業の概要を簡潔に記載してあります。
- ③ 「内部評価」は、下記の指標に基づき自己評価を行いました。
- ④ 「外部評価」は、各分野の有識者の意見を付しております。

※自己評価配点基準

- | |
|--|
| 1 必要性・・・教育委員会が実施すべき範囲として |
| ・適切→3点 ・概ね適切→2点 ・やや不適切→1点 ・不適切→0点 |
| 2 有効性・・・予定された実績、成果を得るのに |
| ・有効→3点 ・概ね有効 →2点 |
| ・あまり有効でない→1点 ・有効でない→0点 |
| 3 効率性・・・投入した経費等が原資に見合う |
| ・実績を出している →3点 ・実績を概ね出している→2点 |
| ・実績をあまり出せない→1点 ・実績を出せない →0点 |
| 4 優先度・・・本事業が他に比べて |
| ・優先度がある →3点 ・概ね優先度がある→2点 |
| ・あまり優先度がない→1点 ・優先度がない →0点 |
| 5 総合評価 A→総合点 10 点以上 B→8~9点 C→6~7 点 D→5 点以下 |

4 学識経験者の知見の活用

この点検評価を開始した平成 20 年度の最初の有識者会議において有識者の方から各々の専門分野を生かすため、各有識者がそれぞれ関係の深い専門分野について意見を述べるのがよいのではという提案があり、以後、同様の手法を採用しております。教育委員会が自己点検・評価したものに対して、意見を述べていただきました。

「点検・評価に関する有識者」名簿		(五十音順・敬称略)
氏名	専門分野	事業担当部署
下地 安広	文化芸術	教育部
長田 隆子	社会教育	教育部
東 健策	学校教育	指導部

浦添市教育行政の「点検・評価に関する有識者」に関する要綱

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、教育に関する事務の点検及び評価を行うに当たって教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、点検・評価に関する有識者(以下「有識者」という。)を置く。

(委嘱等)

第2条 有識者は、教育に関し学識経験を有し、教育活動に熱意のある者の中から、教育委員会が委嘱する。

2 有識者の任期は、当該年度における点検・評価に係る業務の終了時までとする。

(業務)

第3条 有識者は、次に掲げる業務を行う。

(1) 教育委員会が実施した点検・評価に関し意見を述べること。

(補則)

第4条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年1月29日から施行する。

この訓令は、平成27年5月19日から施行する。

Ⅲ 教育委員会点検・評価書

Ⅰ 教育委員の活動評価

(1) 概要

浦添市教育委員会は教育長と4人の教育委員で組織されています。教育委員は、毎月1回の定例会と必要に応じ臨時会へ出席し、付議された案件について審議等を行っています。また、学校や地域行事等への積極的参加や教育委員会連合会を通して、他市町村教育委員会の情報収集や教育行政に関する諸問題を研究討議し、浦添市の教育行政の発展のために努めています。

(2) 名簿

令和5年3月31日現在

役職名	氏名	任期
教育長	當間正和	令和2年5月31日～令和5年5月30日
職務代理者	又吉繁	平成31年4月1日～令和5年3月31日
委員	手登根雄次	令和2年10月1日～令和6年9月30日
委員	銘苺健	令和3年4月20日～令和7年4月19日
委員	下地イツ子	令和4年10月1日～令和8年9月30日

(3) 教育委員の活動状況

	内容	延べ件数
1	教育委員会の会議(定例会・臨時会)	17
2	総合教育会議	1
3	教育委員の資質向上(研修会・勉強会等)	15
4	学校訪問	16
5	各学校行事(儀式・体育行事等)	7
6	各種行事(式典・大会等)	7
7	研究大会・会議・市主催事業等への参加	5

(4) 教育委員の活動自己評価

平成 29 年度から新教育委員会制度に移行したことを契機に、教育委員会活動評価について新たに教育長へのチェック機能も評価項目として加えた。各活動評価についても項目毎に ABC の評価基準を設け自己評価方式に変更した。

評価に当たっては、教育の政治的中立性、継続性、安定性の確保を重視しつつ、教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長との連携の強化等を踏まえて評価を行った。

＜評価基準＞ A:よくできた B:できた C:不十分				
項目	内容	評価		
教育委員会会議について	1	方針の決定や執行にあたって公正公平性・継続安定性は確保できたか。 ○常に公正公平性を心がけ、急な対応においても会議を開催することができた。	A	
	2	議案の決定は十分な時間や資料等を確保しスムーズに審議することができたか。 ○議案決定に際しては、事前の勉強会開催や適切な関連資料が提供され、十分な協議のもとに審議することができた。	A	
		3	議案の審議にあたって合議制は十分に機能したか。 ○各委員の建設的な意見交換の中で合議制が保たれた。	A
	地域住民の意向の反映について	1	学校訪問を通して、学校教育の現状を把握し、適切な支援が行えたか。 ○全小中学校を訪問することで、コロナ禍の中でもオンライン授業や ICT 機器を活用した授業等特色ある取組が把握できた。また、課題については、持ち帰り、当該課に伝え、適切な支援に努めることができた。	A
		2	社会教育行事・各種行事等へ参加し、現状把握することはできたか。 ○新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、可能な限り行事等への参加を行い、現状把握に努めた。	A
			3	外部評価の点検・評価は適切に行われ、スムーズに議会や市民へ報告・公表できたか。 ○9月議会への報告及び本市ホームページで公表した。
教育長について		1	教育長は重要な審議事項や重点課題などの進捗・執行状況などを効果的に報告したか。 ○定例の教育委員会会議においての報告以外にも教育長への委任事務の事務進捗状況等についての報告がなされた。	A
		2	会議の透明性のため、原則として、会議の議事録を作成・公表することができたか。 ○ 会議の議事録は事務局の迅速な作成で、審議内容を各委員で共有化できた。 ○教育委員会会議の概要を市ホームページで公開している。	A
				○教育委員が日頃関心をもっている教育課題が議題として取り上げることができた。

2 教育長への委任事務評価(令和4年度)

点検評価対象事業一覧

No.	分野	事業名	担当課	自己評価					有識者
				必要性	有効性	効率性	優先度	総合評価	
1	社会教育	社会教育推進事業	社会教育推進課	3	2	2	2	B	長田 隆子 氏
2		放課後子ども教室推進事業	社会教育推進課	3	2	2	3	A	
3		公民館運営事業	社会教育推進課 (中央公民館)	3	2	2	3	A	
4		図書館運営事業	社会教育推進課 (図書館)	3	2	2	3	A	
5	文化芸術	史跡浦添城跡保存整備事業	文化財課	3	3	3	3	A	下地 安広 氏
6		美術館運営事業	文化財課 (美術館)	3	3	3	3	A	
7	学校教育	学力向上対策事業	学校教育課	3	3	2	3	A	東 健策 氏
8		外国語指導事業	学校教育課	3	3	3	3	A	
9		GIGAスクール運営事業	学校教育課 (教育研究所)	3	3	3	3	A	
10		こどもが主体的に学習するための 学校ICT機器整備事業	学校教育課 (教育研究所)	3	3	2	3	A	
11		課題を抱える児童生徒支援事業	こども青少年課	3	3	3	3	A	
12		学校給食費補助金交付事業	学校給食調理場	3	2	2	3	A	

※自己評価配点基準

【各項目】3点(適切等)～0点(不適切等)×4項目

【総合評価】A(10点以上)・B(8～9点)・C(6～7点)・D(5点以下)

教育委員会点検・評価書(令和4年度実施事業)

No	I	事業名	社会教育推進事業		
担当課	社会教育推進課		有識者	長田 隆子	
事業概要	<p>生活の向上や自己実現を目指す市民に学習の場を提供し、自発的・主体的な学習活動への支援を行う。また、社会教育関係団体の育成及びその活動支援を行うことで、地域社会活動の活性化を促し社会教育の推進を図る。</p>				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	2	2	2	
B					
成果等	<p>(1) あなたに伝えたい市民講座 7回開催(ミニ講座3回)延べ人数139名 (2) 自主企画まなび助成制度 10グループ学習回数37回(延べ322名) ○コロナの影響で講座等が計画どおり実施できなかったが、感染防止対策を徹底する等、オンライン研修などの持ち方を工夫し、可能な限りの研修事業を行った。 ○当課が企画した講座と市民が共通課題解決のために自主企画・運営する応援講座との相互学習により、地域・家庭教育力の向上を図った。 (3) 浦添市てだこ学園大学院運営委託 ○講座科目:42科目(1年次) 39科目(2年次)、入学生:20名 卒業生:27名(延べ1,237名) (4) 社会教育関係団体活動の支援 ○浦添市PTA連合会 1,375,239円 ○浦添市婦人連合会 1,554,364円 補助金交付により団体活動の充実及び社会教育活動の推進が図られた。</p>				
課題	<p>○市民のニーズを把握し、効果的な学習機会を提供し、主体的な学習活動へつながる仕組みづくりが必要。 ○婦人連合会に関しては高齢化、市PTA連合会に関しては会員の減少が依然として進んでいる。活動状況を広く紹介し、新規会員の募集等広報の仕方を見直すなど、検討していく必要がある。</p>				
今後の方向	<p>○家庭・学校・地域における教育力の向上を目指し、学校教育と社会教育の緊密な連携・協力を図る。 ○学んだことを、家庭・地域の課題解決に結びつけ地域貢献活動につながるよう、てだこ学園大学院と連携しながら活動支援及び社会教育の推進に努める。 ○社会教育団体においては、活動内容や募集案内等、行政と連携して広く告知していく。また、従来の方法以外の広報の仕方を助言する。 ○家庭教育支援については、令和5年度から公民館係へ移行(社会教育指導員の効果的活用、効果的講座運営を図るため)</p>				
有識者の意見	<p>○課題、今後の方向共に昨年度と同じ内容となっていることに、PDCA サイクルを機能させて業務を行う必要性を感じる。 ○社会教育推進課において、当該、社会教育推進事業が昨年度に続いて優先度2という評価について疑問を感じるが、講座の企画実施の公民館への移行、コミュニティスクール実施に向けた学者融合の取り組み等事業内容の見直し計画を伺い、今年度の事業優先度、成果を期待する。 ○社会教育主管課の役割としての、市民の学習ニーズ調査については、その成果を公民館や図書館等社会教育施設に反映できるよう、引き続き検討をお願いしたい。</p>				

- てだこ学園大学院の「地域学校協働活動」の講座の成果が具体化するような仕組み（例、ボランティア人材登録）等ができれば、コミュニティスクールとの連動も期待できるかと考えられる。
- 社会教育関係団体については、引き続き、補助金交付に留まらず、補助金の有効活用のための事業内容の見直しなどの助言も必要と考える。
- 社会教育機関の統括課として、公民館、図書館等を網羅した研修会等のソフト事業実施や施設計画等その役割は最重要である。市民の社会教育力の向上に向け尽力を期待する。

教育委員会点検・評価書(令和4年度実施事業)

No	2	事業名	放課後子ども教室推進事業		
担当課	社会教育推進課		有識者	長田 隆子	
事業概要	放課後や週末等に、地域の方々の協力を得て、子どもたちと共に学習やスポーツ、文化活動及び地域交流活動等の取組を実施する。その取組により、安全・安心な地域社会の中で子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。(平成19年度より文部科学省及び厚生労働省の連携のもと開始)				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	2	2	3	
A					
成果等	<p>(1) 実施教室数 →17 教室 (R3: 18 教室、R2: 19 教室)</p> <p>(2) ボランティア人数 実人数 →102 人 (R3: 150 人、R2: 153 人) 延べ人数 →4,158 人 (R3: 2,267 人、R2: 3,307 人)</p> <p>(3) 実施日数 →1,195 日 (R3: 712 日、R2: 1,039 日)</p> <p>(4) その他 →地域の方々の協力のもと、子どもたちに学習の機会や文化活動等を提供することができ、活動を通し地域の大人と積極的な交流や子どもたちの自主性・社会性を育むことができた。また、ボランティア数、実施日数が増加し、活動が活発化できた。 →新型コロナウイルス感染症の影響により活動できない時期もあったが、感染防止対策をしながら活動を継続することができた。</p>				
課題	<p>○空き教室やボランティア人員の不足により全小学校区における教室開設が難しく、小学校区により実施教室数の偏りがある。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、実施教室数が減少傾向にある。</p> <p>○放課後児童クラブ(学童)との連携・協力を推進する「新・放課後子ども総合プラン」(平成30年度より開始)が目指す連携型・一体型教室の設置数は4教室と低い水準。</p>				
今後の方向	<p>○全小学校区における教室開設を目指し、推進員及びボランティアと連携し、事業活動の内容充実を目指す。</p> <p>○実施教室数の増加を目指し、広報活動等の周知方法を工夫する。また、新型コロナウイルス感染症の収束状況に応じ、当該ウイルスの影響により閉鎖した教室へ再開設を促していく。</p> <p>○連携型・一体型教室を設置するという目標に向かって、学童所管課と連携・協力していく。</p>				
有識者の意見	<p>○コロナ禍で、教室開設数も減り、ボランティア実人数も減る中で、ボランティア延べ人数が昨年度に比べ倍増していることは、ボランティアの負担増が考えられる。ボランティアの皆さんが疲弊しないよう、ボランティアの確保に向けて、ただこ学園大学院との連携や、自治会で活動するサークル、団体への協力依頼等、積極的なアプローチが必要と思われる。</p> <p>○コロナで一旦閉鎖した教室の再開設に向けては厳しいと思われるが、再開設に向けて継続して努力していただきたい。昨年度に続いて自治会へ開設を促していくことを提案する。中でも、地域子ども会や青年会との連携で行うことで、子ども会の育成にもつながり、青年会の社会教育力の向上につながる。</p> <p>○連携型・一体型教室の設置基準が低い要因は何か、障害は何かを見極めた上で、それを取り除くべく具体的な対策を学童所管課と一体となって取り組む必要があると考える。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和4年度実施事業)

No	3	事業名	公民館運営事業		
担当課	社会教育推進課(中央公民館)		有識者	長田 隆子	
事業概要	多様な価値観に対応した社会教育推進の取組として、地域・現代的ニーズ(必要課題)と市民のニーズ(要求課題)を捉えた「公民館講座」、自治公民館が主体となった「自治公民館講座」の開設等、学習支援を通じて「まなぶ・つどい・つなぐ・いかす」社会教育の場を提供する。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	2	2	3	
	A				
成果等	<p>(1) 公民館講座 13講座全 28回 学習者延べ 5,745名 ※R3年度 14講座全 22回 学習者延べ 949名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平和キャラバン(平和教育の出張講座)を市内8校が活用したことにより学習者が増。 ・ 全体として、コロナウイルス感染縮小に伴い講座の形態がオンラインから対面に戻る。 <p>(2) 自治公民館講座 13自治公民館 22講座全 66回 学習者延べ 868名 ※R3年度 7自治公民館 10講座全 38回 学習者延べ 305名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で講座の実施が滞っていたが、前年に比べ積極的な学習活動がみられた。 <p>(3) 公民館ミニまつり 令和4年 12月3日(土)・4日(日)開催 参加者延べ 727名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年ぶりに規模を縮小し、「展示」「サークル見学会」の二本柱で実施。オープニングセレモニーでは、中央公民館講座で「チョークアート」に挑戦した中高生の作品をお披露目。玄関に掲げられたアートは来館者を賑やかに出迎えている。 				
課題	<p>○市の方針で、中央公民館(分館含む。)、ハーモニーセンター等公共施設の再配置、統廃合の検討がされている。</p> <p>○自治公民館講座の開設に地域差がある。</p>				
今後の方向	<p>○長年、本館3階ホールで開催してきた公民館まつりを、施設の老朽化及び再配置検討に伴い、令和5年度からたこホールを会場に、放課後子ども教室等と抱き合わせた新たな学習成果の発表の場「うらそえ社会教育いきいきまつり」として実施予定。</p> <p>○施設の統廃合に向け、学習活動(各種講座・サークル活動)において、類似施設の有用活用が求められるなか、自治公民館をはじめとする類似施設と連携しながら、活動場所の移行を進めていく。</p>				
有識者の意見	<p>○ウィズコロナの時代を迎え、感染予防対策を行いながらの対面の講座開設、自治公民館における学習活動の復活等、滞っていた社会教育活動にも明るい兆しが見えてきた。 今だからこそその社会教育施設の役割の原点に戻って、市民力、地域力の向上に向けた講座企画、事業運営を工夫していただきたい。ハーモニーセンターや自治公民館等の学習活動(各種講座、サークル活動)だけ捉えて、類似施設と解されているが、公民館は市民の唯一の社会教育施設であることを忘れてはならない。人づくり、その人による地域づくりがひいてはまちづくりへの柱となるように。ただこ学園大学院で育った市民の活用も視野に入れた事業の工夫等。</p> <p>○講座の企画については、対象が青少年に偏った感がある。広い年代層(特に社会の中堅層)にわたり、公共性の高い学びを優先し、市民性の涵養やまちづくりなどにターゲットを絞るなどの企画運営が必要と考える。</p> <p>○公民館まつりについては、「公民館ミニまつり」から、「うらそえ社会教育いきいきまつり」と運営のご苦労が感じられる。昨年度、自治公民館の学びの成果発表の場の提案を行ったが、この機会に、社会教育推進課、市民生活課、市民協働・男女共同参画課と連携して「市民協働とまなびのフェスタ浦添」に融合させたらどうだろうか。</p>				

教育委員会点検・評価書（令和4年度実施事業）

No	4	事業名	図書館運営事業		
担当課	社会教育推進課（図書館）		有識者	長田 隆子	
事業概要	浦添市立図書館は図書及びその他の資料の収集・整理・保存に努め、その利用促進を図り、市民の教養、調査研究、レクリエーション活動を援助し、生涯学習及び課題解決を支援し、市の教育・文化振興の拠点となる図書館を目指す。併せて、多様化・高度化する市民のニーズや社会の変化に伴う新たな要請へ対応する。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	2	2	3	
	A				
成果等	(1) 図書資料等の貸出業務 ・貸出冊数：R4年度 308,736冊（R3年度 235,576冊、R2年度 274,430冊） ・1日平均貸出冊数：R4年度 1,103冊（R3年度 1,189冊、R2年度 1,172冊） ・貸出人数：R4年度 70,031人（R3年度 52,760人、R2年度 59,870人） ・1日平均貸出人数：R4年度 250人（R3年度 266人、R2年度 256人） ・予約総数：R4年度 20,214件（R3年度 22,130件、R2年度 16,454件） ・Web予約数：R4年度 16,572件（R3年度 18,513件、R2年度 13,565件） ・新規利用申請者数：R4年度 2,826人（R3年度 1,311人、R2年度 1,347人） ・雑誌スポンサー：R4公募：19事業所、23タイトル、金額 262,864円 ※令和5年3月現在（R3公募：12事業所、14タイトル、金額 161,758円） (2) 電子図書館事業 ・貸出冊数：R4年度 11,762冊（R3年度、2月～3月 3,685冊） ・1日平均貸出冊数：R4年度 32冊（R3年度 62冊） ・貸出人数：R4年度 2,439人（R3年度 739人） ・1日平均貸出人数：R4年度 6人（R3年度 12人） (3) うらそえYA文芸賞 ・応募者数 R4年度 小説：33人（R3：14人）、詩：179人（R3：6人）、審査会後 HP で受賞者を発表、受賞者作品集の発行、さらに浦添市文化協会文芸部会発行の「うらそえ文藝」に、煌賞 2 作品を掲載。				
課題	○貸出冊数は増加しているが、開館日数（R4・280日、R3・198日、R2・234日）から見ると、1日の平均貸出冊数は、ほぼ横ばい（若干減少）である。 ○電子図書館導入当初は、「月間貸出冊数目標 50冊」と考えていたが、実際、統計を取り始めると目標に届いていない月がほとんどである。 ○電子図書所蔵数は令和5年4月現在、4,023冊だが、そのうち約1,700冊が期間限定・貸出回数限定の図書であるため、令和6年2月には貸出期限切れにより、所蔵数が減少する。 ○雑誌スポンサー制度は、新規スポンサーの開拓や継続申込につなげるための手法検討が必要。				
今後の方向	○平均貸出冊数は、ほぼ横ばい（若干減少）となっているので、利用者の興味・関心を引き出すような様々な企画を催し、変化に富んだ資料の展示、提供等を実施し、貸出冊数の増加につなげたい。 また、業務日誌や「みんなのこえ」など利用者からの直接の意見から、需要につながる情報を収集し資料のバランスを考えながら蔵書の充実も図っていききたい。 ○電子図書貸出ランキングや県外・県内電子図書導入館と情報を交換しながら、利用者の増加につながる方法、選書、画面構成を検討する。 また、認知度を上げるため、市のLINEや図書館ツイッター、おすすめ本のチラシ等を作成し、広報活動の充実を図る。				

	<p>○YA 文芸賞は令和 3 年度より大幅に応募数が増加した。令和5年度は YA 文芸賞のほかにビブリオバトル体験の開催も予定している。今後も事業の幅広い周知を行い YA 世代の読書活動推進に努める。</p> <p>○雑誌スポンサーは、引き続き促進に努める。</p>
有識者の意見	<p>○点検・評価書には記載がないところではあるが、ヒヤリングをとおして、データに基づいた課題把握及び課題解決に向けた職員の積極的な姿勢が感じられ高評価できる。また、市民の知の学習施設に留まらず、ボランティア活動の場の提供、他機関との連携、学社融合の取り組み、時代を先読みした図書館運営等、社会教育施設としての使命に徹していることも高評価。</p> <p>○児童書の蔵書の多さはもとより、次代を担う子ども達の読書推進環境を図書館サービス計画に位置付けて年齢層（発達段階）に応じた様々な事業を展開していることも、将来の読書人口の増につながり評価できる。</p> <p>○特に YA 文芸賞は、学校との連携により応募が倍々増している。浦添市のみならず、県内の YA 世代の文才の発掘支援につながる注目すべき事業として、継続していただきたい。</p> <p>○ビブリオバトル体験については、学校との協働による小、中、高校レベル毎の開催、そして、大学との連携による全国大学ビブリオバトル大会への出場、企業等との連携による一般社会人大会と、市民の読書力、表現力を育てる事業として、新しい可能性を広げてほしいものです。</p> <p>○雑誌スポンサー制度については、申し込みの方法、簡素化を検討することを期待します。</p>

教育委員会点検・評価書(令和4年度実施事業)

No	5	事業名	史跡浦添城跡保存整備事業		
担当課	文化財課		有識者	下地 安広	
事業概要	<p>本事業は国指定史跡浦添城跡の適切な保存と活用を図るため、「史跡浦添城跡整備基本計画」に基づき復元整備を行うものである。浦添グスクと浦添ようどれを核とした歴史公園整備を最終的な目標とし、現在は計画の第Ⅱ期地区の整備に着手している。令和4年度は発掘調査を行うとともに、園路整備・便益施設設置工事を実施した。</p>				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
	A				
成果等	<p>(1) 発掘調査 浦添城跡の復元整備に必要な根拠資料を得るため発掘調査を実施し、14世紀後半と考えられる石積城壁を検出した。令和4年度の発見箇所を含む一帯の城壁は、長さ約30m・最大高約2.5mを測り、浦添城跡内で最も良好に残存していることが確認された。城壁の隣接地点では盛土造成と土止め石積が検出されるなど、城壁の構築に土木・建築技術等について新たな知見が得られた。 発掘調査中には調査の様子を「発掘調査通信」として現地に掲示する取組を行った。また、発掘現場見学会を実施し、参加者700人に現地を公開するとともに、市HPに調査成果を掲載し周知を図った。</p> <p>(2) 園路整備 浦添城跡を周遊する園路の整備を行い、令和5年4月1日から供用を開始した。</p> <p>(3) 便益施設 浦添城跡西側のエリアに便益施設を設置し、供用を開始した。</p>				
課題	<p>○石積城壁が残存する地点の岩盤に、風化による亀裂が認められており崩落等が懸念される。復元に先んじて岩盤強度を確認する必要があること。</p> <p>○発掘調査で石積城壁の外側・裏込めの遺構確認をすることができたものの、城壁内面は未確認であるため、復元に必要な資料が不十分であること。</p>				
今後の方向	<p>○城壁の基盤となる琉球石灰岩岩盤の調査を実施する。</p> <p>○石積城壁の残存状態や岩盤調査の成果を踏まえ、復元の具体的な方針・設計を検討する。</p> <p>○浦添グスクの全容を解明するため、引き続き発掘調査を継続する。</p> <p>○発掘調査成果を周知・活用し、地域史や文化財保護等の普及啓発を促進する。</p>				
有識者の意見	<p>○発掘調査による盛土造成と土止め石積の発見は、当時の城壁構築の土木・建築技術等を知ることができるもので高く評価する。また、発掘調査成果の公開と周知についても、現場見学会をはじめ、調査の様子を記載した「発掘調査通信」の現地掲示や、市HP掲載等、主管課の取組を評価する。</p> <p>○園路整備・便益施設は、浦添城跡を利活用する上で市民及び県民から求められていたものと推察することから努力して取組んだものとして評価をしたい。一方、気掛かりは当園路と便益施設の今後の維持管理である。主管課には施設の維持管理について努力をお願いしたい。</p> <p>○課題の岩盤強度確認と城壁内面の確認については、専門的な調査と検討を必要と思慮することから、慎重な調査・検討と多くの専門家の意見集約をお願いしたい。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和4年度実施事業)

No	6	事業名	美術館運営事業		
担当課	文化財課(美術館)		有識者	下地 安広	
事業概要	美術館の事業運営を円滑に行うため、美術館協議会の運営や窓口業務委託等を行う。また常設展の実施や企画展、関連講座を開催する。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
A					
成果等	<p>常設展:令和4年度は3回の展示替えを実施した。 第1期常設展「ぶらり漆器ワンダーランド」(5月18日~9月4日) 第2期常設展「沖縄本土復帰50周年 世替わり琉球漆器」(9月11日~1月22日) 第3期常設展「色と形と文様とー漆器のいろはー」(1月29日~6月4日) また、各期に関連講座や糸数館長によるスペシャルギャラリートークを開催。毎週日曜日には、学芸員によるギャラリートーク(解説付きで展示室を案内)を実施した。</p> <p>企画展:「新収藏品展」、「琉球八景展」、「実習教室発表展」、「戦がやってきたー沖縄戦版画集ー」版画展を開催。これらは、毎年開催しているものである。 それ以外に、「友の会作品展」など定例の共催展の他、令和4年度のみ共催展として「With Art うらそえ2022 浦添パブリックアート 記録と作家展」、「バンクシー&ストリートアーティスト展」などが開催された。</p> <p>常設展観覧者数5,489人。総来館者数は47,138人。</p>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展や「八景展」「戦展」などは展示内容に大きな変化を付けるのは難しいため、観覧者に興味を持ってもらえるような取組を行う必要がある。 ・令和5年度より指定管理者制度が導入されるため、事業実施体制の見直しや、指定管理者との連携などの整備を行う必要がある。 				
今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展展示作業は一部を専門業者に委託をするなど、合理化に努める。 ・展示内容は、来館者の関心をひくテーマの設定や、展示方法等の工夫を行っていく。 ・市側が実施する収藏品を活用した企画展についても、関連催事の実施、映像などの補助展示を充実させるといった新たな取組を行うことでマンネリ化を防ぎ、子ども向けの解説も加えるなどの工夫で客層を広げていきたい。 ・次年度からは指定管理者とも連携を図り、より美術館が活用されるよう取り組んでいく。 				
有識者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○常設展3回の展示替えは、県内博物館・美術館と比較した場合、際立つ取組である。また、展示テーマの創意工夫と関連の講座やギャラリートークはコロナ禍で開催が難しい中、工夫した取組等、高く評価する。 ○企画展は毎年開催と定例共催の展覧会が大半を占めていた。市民・県民がイメージする企画展とはギャップを感じることから、新たな視点で調査・研究等の検討が必要であろう。一方、「戦がやってきたー沖縄戦版画集ー」版画展では舞台朗読の会とのコラボがあり、視点を変えた取組として評価したい。 ○課題と今後の方向で、令和5年度以降の指定管理者制度の導入に伴う事業実施体制の見直し、指定管理者との連携等の整備、美術館活用への取組の必要について記載があるが、主管課には指定管理者任せにすることなく、共に連携して取り組む視点で対応をお願いしたい。 ○この点検・評価に関連して美術館からヒヤリングを実施したところ、市内小中学校美術作品展事業及び実習教室事業は予算科目の関係等から除いたとの説明があった。次年度以降は、全ての展示・展覧会及び事業を含む方向で検討をお願いしたい。 				

教育委員会点検・評価書(令和4年度実施事業)

No	7	事業名	学力向上対策事業		
担当課	学校教育課		有識者	東 健策	
事業概要	<p>市内幼児・児童・生徒の学力向上実現のために以下の事業を行う。</p> <p>(1)『学力向上推進委員会設置要綱』を基に、学力向上推進委員会・専門部会の開催。</p> <p>(2)『浦添市学力向上推進実践報告書』を作成・配布し、各こども園、各小中学校、家庭・地域、関係各課・機関における学力向上マネジメントのPDCA サイクルを意識した取組。</p> <p>(3)中学校において、英語検定、漢字検定、数学検定受験生徒へ検定料の半額補助。</p>				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	2	3	
A					
成果等	<p>(1) 学力向上推進委員会・専門部会の開催 →学力向上推進委員会:(R4 実績:2回 R3 実績:0回,R2 実績:2回) 専門部会:(R4 実績:0回 R3 実績:0回, R2 実績:0回)</p> <p>(2)『浦添市学力向上推進実践報告書』作成・配布 →R4 実績(120部)R3 実績:(120部)R2 実績:(120部)</p> <p>(3)各種検定料の半額補助 →R4 実績:748人(英検:366人、漢検:298人、数検:84人) R3 実績:918人(英検:387人、漢検:363人、数検:168人) R2 実績:1,055人(英検:465人、漢検:429人、数検:161人)</p> <p>○「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校運営協議会設置校2校、準備会を7校に設置し学校・家庭・地域の連携・協働のさらなる充実に努めることができた。</p>				
課題	<p>○学力向上推進に係る重点項目等を各学校(園)に対し明確に示す必要がある。</p> <p>○『実践報告書』の作成方法や内容について、見直しを図る必要がある。</p> <p>○各種検定料半額補助の実績が減となっている。</p> <p>○学力向上推進の取組とR6年度全校設置となる学校運営協議会との連携・協働の在り方。</p>				
今後の方向	<p>○各種会議の確実な実施により、各学校(園)における実践的かつ機能的な取組充実に努める。</p> <p>○『実践報告書』が、他の学校(園)の参考となるよう見直しを図り、その内容を充実させる。</p> <p>○各種検定料の半額補助について、各中学校や生徒・保護者に対し、尚一層の周知に努める。</p> <p>○各学校の学力向上推進の取組充実と学校運営協議会との連携・協働について助言を行う。</p>				
有識者の意見	<p>○他校(園)の優れた実践を市内全校(園)で共有し、自校(園)の実態に合わせて工夫し、こども園では教育・保育の改善につなげる、小中学校では「主体的・対話的で深い学び」の授業改善に活用することを目的とした「浦添市学力向上推進実践報告書」の発行は評価できる。</p> <p>○各種検定(英検、漢検、数検)の半額補助者数が減少している。要因としてはコロナ禍の影響が大きい、高い検定料も影響しているようだ。検定に合格したという喜びが自信になり、自己肯定感へつながり多方面に好影響を及ぼすので事業の継続は必要である。できれば補助額を上乗せできるといいのだが。</p> <p>○コロナ禍で学力向上推進専門部会をはじめ、各種会議が思うように開催できず本事業の推進にとってはマイナスであった。コロナ禍が収束に向かう中、今後は学力向上に係る各種会議が学校内外で開催され、各学校(園)において学力向上への取組がより一層推進されると思われる。小中学校においては、コロナ禍前の教育活動とコロナ禍で活用したオンライン学習等をうまく組み合わせて教育活動を展開することで、児童生徒の学力向上が期待できる。</p> <p>○幼児児童生徒の学力向上は学校(園)だけで達成できるものではなく、学校と家庭、地域、行政が連携し地域を挙げて取り組むことが必要である。全校に設置される「学校運営協議会」と連携・協働して学力向上推進の取組を進めたい。学力向上の中心となるのは学校であり、教職員である。先生方が本来の業務に集中でき、児童生徒と向き合う時間を十分に確保し、質の高い教育が継続的に行えるよう「浦添市学校業務改善プラン」の推進も重要である。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和4年度実施事業)

No	8	事業名	外国語指導事業		
担当課	学校教育課		有識者	東 健策	
事業概要	<p>市立小中学生に対し、英語指導助手(AET)を活用した外国語活動・外国語学習を行う。</p> <p>(1) 小学校では、学級担任や英語専科教師とのチーム ティーチングにより音声を重視した英語の授業を推進する。</p> <p>(2) 中学校では、外国人英語指導助手(AET)を活用し、英語によるコミュニケーション能力の育成を図るとともに、国際化に対応できる視野の広い生徒の育成を図る。</p> <p>(3) 英語指導助手(AET)を活用して、全ての市立小中学校において異文化交流会を実施する。</p>				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
	A				
成果等	<p>(1) AET を全小中学校に配置し、AET を活用した授業や交流を行うことにより、児童生徒の異文化や英語に対する興味・関心が高まり、コミュニケーション能力の育成に効果的である。</p> <p>*R4 実施浦添市外国語意識調査結果より（全国は、全国学力状況調査結果質問紙結果より 小学校はR3実施、中学校はR1 実施）</p> <p>①「英語が好き」小学校高学年 76% (R3 全国 68%)、中学校 59% (R1 全国 56.3%)</p> <p>②「英語の勉強は大切だ」 小学校高学年95%、中学校92%</p> <p>(2) 全小中学校で異文化交流会を実施することができた。</p> <p>「自校の国際理解教育目標にせまることができた。」 異文化交流会担当教師回答100%</p> <p>(3) 海外短期留学派遣事業の代替プログラムとして、外国人英語指導助手(AET)を活用して、「中学生異文化交流及び国際理解学習会」を2日間の日程で実施することができた。</p>				
課題	<p>○スキル面の課題（R4 実施県学力到達度調査）</p> <p>県学力到達度調査（1年生）市平均正答率 41.3%（県 42%、地区 43.8%）</p> <p>県学力到達度調査（2年生）市平均正答率 51.5%（県 50.3%、地区 52.1%）</p> <p>○情意面の課題（R4実施浦添市外国語意識調査結果より）</p> <p>「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う。」</p> <p>小学校高学年 57%（全国比なし） 中学校 46%（R1 全国42%）</p> <p>○小中連携した外国語指導</p>				
今後の方向	<p>○小中ともに、効果的な AET とのチーム ティーチングによるきめ細かな学習指導を行うとともに、「言語活動」を通して英語によるコミュニケーション能力の育成に努める。</p> <p>○国際理解教育やキャリア教育における外部資源の活用という観点から、JICA 沖縄と連携した取組の充実に努める。</p> <p>○小中連携の公開授業及び授業研究会を充実する。</p>				
有識者の意見	<p>○浦添市外国語意識調査で「英語の勉強は大切だ」と答えた児童生徒が、小学校高学年と中学校で9割を超えているのは本事業の成果だといえる。また、全ての小中学校で AET を活用して異文化交流会が実施できたことも大きな成果である。本市がどこの学校のどの学年においても効果的にチームティーチングができるよう、全ての小中学校に AET を配置していることは、他市町村に誇れる本市の特長といえる。</p> <p>○県学力到達度調査で中1が県と地区に、中2が地区に、正答率が届いていない現状から英語の勉強への意識は高いがスキル面が弱いといえるので、課題を分析し各学校での授業改善につなげる必要がある。また、情意面の課題として「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う」の回答率の低さが挙げられている。外国語教育以外にも、教科横断的な学習、国際理解教育、キャリア教育の充実も大切と思われる。</p> <p>○全国に15ヶ所しかない JICA の国内拠点の1つ「JICA 沖縄」が本市にあり、教育資源の活用という視点から積極的に活用して、国際理解教育や外国語教育を推進してほしい。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和4年度実施事業)

No	9	事業名	GIGA スクール運営事業		
担当課	学校教育課(教育研究所)		有識者	東 健策	
事業概要	ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」の充実のため、児童生徒の一人一台端末の効果的な活用及び円滑な運用のために必要な環境を整備する。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
A					
成果等	<p>○ 本事業による機器環境の整備によって、一人一台端末を活用した「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善を推進している。</p> <p>(1)一人一台端末と高速通信ネットワーク等の環境整備 本事業による機器環境整備によって、各教室でのネットワーク環境の安定的な整備がなされ、一人一台端末の授業での活用が進んでいる。端末で授業支援アプリを活用した授業を毎日実施している児童生徒の割合は小学校で52%、中学校で80%であった。 また、活用が増えるに従って端末の破損や故障も増えたが、本事業による修繕や予備機の整備によって、滞ることなく端末活用を行うことができています。</p> <p>(2)効果的な ICT 活用授業の推進 授業支援アプリの活用により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を目指した授業が各学校で実践されつつある。これらの実践を各種研修会や ICT 支援員の出前講座等で各学校に共有している。</p> <p>(3)クラウド型フィルタリングによる安心・安全な利活用 クラウド型フィルタリングによって、有害・不適切なサイトに接続してしまうことなく安心・安全な利活用ができています。</p>				
課題	<p>○今後も安定的に運用されるよう、長期的な視野で運用管理していく必要がある。</p> <p>○持ち帰りによる家庭での活用を含めた「効果的な活用」を推進していく必要がある。</p> <p>○情報モラルを含めた児童生徒の情報化社会に対応する活用スキルの育成が急務である。</p>				
今後の方向	<p>○長期的な視野での運用管理システムの構築と、従来の情報モラル教育に加えてこれからの情報化社会に対応できる児童生徒の ICT 活用スキルの育成の系統的な推進。</p> <p>○約 12,000 台の端末が日常的かつ効果的に活用されるための、教職員研修の計画的・継続的な実施と学校現場のニーズを捉えたきめ細かな支援。</p> <p>○学校現場の運用と活用を支える ICT 支援員の増員を目指すことで、効果的な活用を促進するための支援体制の充実。</p>				
有識者の意見	<p>○市内全小中学校で、すべての児童・生徒がパソコンやタブレットを自由に使う環境が整備され、効果的な授業が着実に展開されていることは評価できる。さらに ICT 教育を効果的に行うためには教職員の ICT 活用指導力が必要不可欠であり、各学校において実践研修会や ICT 支援員の出前講座等を積極的に活用して教職員の操作スキルを含めた指導力向上に努めてほしい。</p> <p>○授業支援アプリを活用した効果的な ICT 活用授業が全校で取り組まれていることは大いに評価できる。また、クラウド型フィルタリングによって、有害・不適切なサイトに接続してしまうことなく児童生徒が安全に活用ができていますことは保護者の安心につながっている。</p> <p>○残念ながら、本市においてもネットに関連するSNSによるいじめ事案が発生している。周りの大人がいじめは決して許さないとの強い決意のもと、学校と家庭が連携して情報モラルを徹底していく必要がある。</p> <p>○児童生徒が端末を活用すればするほど機器の不具合が起きることと、児童生徒の活用スキルが向上していくことは相関関係にあると思われる。授業を止めることのないよう、引き続き ICT 指導員等の人的支援体制の充実に努めてほしい。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和4年度実施事業)

No	10	事業名	こどもが主体的に学習するための学校 ICT 機器整備事業		
担当課	学校教育課(教育研究所)		有識者	東 健策	
事業概要	市立小中学校3校(浦添小学校、宮城小学校、港川中学校)へ教育の情報化に向けた電子黒板セット(電子黒板+PC)の ICT 機器整備を実施する。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	2	3	
A					
成果等	<p>(1) ICT 機器(電子黒板等)の機能強化 平成 27 年度から推進してきた本事業により、令和 3 年度に市内全小中学校の普通学級への電子黒板等 ICT 機器が導入された。しかしながら、第 1 期校はプロジェクター型電子黒板を導入しており、GIGA スクール構想による一人一台端末機器との連携がうまくいかなかったり、経年劣化による光源不足やタッチ機能の不具合等が見られるようになっていた。そこで、本事業を活用し、液晶型電子黒板への機能強化を行ったことにより課題が解消された。</p> <p>(2) 「わかる授業」の構築によるこどもの主体的な学習の充実 ICT 機器の整備・機能強化により、「授業がわかりやすい」と答えた児童生徒が小中学校ともに96%となった。また、ICT を活用してわからないことを調べることができる児童生徒は小学校 67%、中学校 86%で、自分の考えをまとめることができる児童生徒は小学校で 50%、中学校で65%であった。学年が上がるに従って ICT を活用した主体的な学習の割合が多くなっている。</p>				
課題	<p>○今年度、第 1 期校への機能強化を行ったが、これまで導入してきた機器の機能不足は第 2 期以降の整備校でも年々起っていきことが予想されるため、継続的・計画的に機能強化を進める必要がある。</p> <p>○全普通教室への配備を終え、機能強化を進めていくだけでなく、特別教室や特別支援教室などでの効果的な活用に向けた整備が必要である。</p>				
今後の方向	<p>○過去に整備した ICT 機器の計画的・継続的な機能強化による一人一台端末との連携した活用を進めることで、児童生徒の主体的な学びの広がりや深まりの一層の充実。</p> <p>○一人一台端末と電子黒板等の連携による日常のかつ効果的な活用を図るための、教職員及び児童生徒への研修や指導・支援の充実、支援体制の強化。</p> <p>○機能強化による機器整備後の特別教室や特別支援教室への再配置の計画による、誰一人取り残すことない「令和の日本型教育」の構築を目指した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実。</p>				
有識者の意見	<p>○本事業を活用し、第 1 期校 3 校(浦添小学校、宮城小学校、港川中学校)へ液晶型電子黒板等を新たに設置し機能強化したことで、端末機器との連携や光量不足、タッチ機能の不具合等が解消されたことは評価できる。</p> <p>○本市独自の全小中学生対象のアンケートで「授業がわかりやすい」と答えた児童生徒が小中学校ともに 96%、「ICT を活用してわからないことを調べることができる」「自分の考えをまとめることができる」と答えた児童生徒の割合が学年が上がるにつれて増えていることから、ICT 機器の整備・機能強化によりわかる授業の構築と主体的な学びができつつあると評価できる。継続して本事業を推進していくことで児童生徒の主体的な学びの広がりや深まりがさらに期待できる。</p> <p>○課題にも挙げられているが、特別教室や特別支援教室などで行われる教育活動での効果的な活用に向けた機器整備も欠かせない。また、ICT 機器の機能進化は日進月歩の世界であり、その対応については計画的になされなければならない。令和 3 年度に市内全小中学校普通教室への配置が終了しているが、機器の設置年度による学校間格差が生じ、その対応にも取り組まなければならないという現状がある。「ICT 機器を活用したわかる授業」の構築でこどもの主体的な学習の充実を目指すためにも、機器の機能強化は重要であり、しっかりと予算を確保して本事業を推進していく必要がある。</p>				

教育委員会点検・評価書(令和4年度実施事業)

No	11	事業名	課題を抱える児童生徒支援事業		
担当課	こども青少年課		有識者	東 健策	
事業概要	<p>沖縄振興特別推進市町村交付金を活用し、臨床心理相談員、教育相談員、自立支援員、教育相談支援員を配置することで、不登校児童生徒や遊び非行・ひきこもり傾向等の様々な課題を抱える児童生徒に対して支援を行う。</p>				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	3	3	3	
A					
成果等	<p>(1) 教育相談室「くくむい」では、不登校児童生徒を対象に、個別面談や小集団活動を通し、学校復帰・社会適応を目指して支援を行った。[教育相談総件数 7,136 件 定期相談生 146 人] (2) 適応指導教室「いまあじ」では、小集団での体験・学習活動を通して集団生活への適応力向上をさせ、学校復帰に向けた支援を行った。[入級者 4 人 体験通級・交流性 21 人] (3) 自立支援室「ひなた」では、遊び非行・ひきこもり傾向の児童生徒を対象に、日中の居場所づくりや自立に向けた支援を行った。[支援件数 1,297 件 児童生徒数 18 人] (4) 市内全小中学校へ教育相談支援員を配置し、課題を抱える児童生徒の相談業務や登校支援、児童生徒に関する悩みを持つ保護者や学校職員の相談活動を実施。 (5) 市内中学校へ校内自立支援員を配置し、登校するが教室に入室できない生徒に対して、校内自立支援室で児童生徒の個々の状況に応じた学習を中心とする支援を実施。</p> <p>※教育相談室「くくむい」、適応指導教室「いまあじ」、自立支援室「ひなた」で連携し、困難なケースに対して丁寧な支援ができたことは大きな成果である。</p>				
課題	<p>○不登校児童生徒数は、全国的に増加傾向にあり、昨年度まで毎年過去最多を更新する状況が続いている。令和4年度、本市においても初めて不登校児童生徒数が500人を超え過去最多となった。特に小学校で不登校が増加しており、未然防止・早期対応が急務となっている。 ○年間 30 日以上欠席した長期欠席生の増加に伴い、教育相談室「くくむい」への相談件数が年々増加。令和4年度は 7,000 件超となっており、各活動の運営を担う臨床心理士、教育相談員の負担が増えている。</p>				
今後の方向	<p>○教育相談室「くくむい」への相談件数増加に伴い、教育相談員の負担を軽減するため、小集団活動の強化を図り、社会適応・学校復帰を目指す。 ○不登校児童生徒の相談・指導等を受ける割合を増加し効果的な支援につなげるため、関係機関との連携強化を図る。 ○臨床心理士による初回面談で、相談者の訴えを明らかにするインテークを「ひなた」でも実施。該当する児童生徒の世帯背景をおさえ、適切な支援方針を検討する。 ○相談者を客観的に分析するアセスメントとして知能検査や社会生活能力検査を実施する。 ○中学校の生徒指導委員会・生徒支援委員会へ参加し、情報提供・情報共有を積極的に行い、お互いの支援につなげる(小学校は要望に応じて)。必要に応じて臨床心理士による適切な助言を行う。</p>				
有識者の意見	<p>○教育相談室や適応指導教室、自立支援室の設置、全小中学校へ教育相談支援員の配置、中学校へ校内自立支援員の配置と、他市町村に誇れる手厚い支援体制で課題を抱える児童生徒支援が行われている。浦添市教育振興基本計画の骨子「すべての幼児児童生徒が等しく、教育を受けるための支援」を達成するために、本市の本気度が伝わる事業であり大いに評価できる。 ○相談件数や支援回数の増加、初の不登校児童生徒数 500 人超えと年々厳しい状況にあるが、本市だけに限ったことではなく、本県を含め全国的な傾向である。相談件数の多さは、児童生徒一人一人を大切に、学校や関係機関が連携して困りごとへの相談体制が構築されている裏返しといえるのではないかと。一方で、抱える件数の多さと解決が困難なケースの増加が臨床心理士や教育相談員の負担になっている現状もあり、人員増などの対応策が急がれる。</p>				

- 学校においては未然防止の視点から「魅力ある学級・学校づくり」の推進、初期対応の視点から「組織的な早期発見・早期対応」体制の確立、自立支援の視点から「学校外の施設と連携した支援」体制づくりが重要である。
- 本事業を継続し、課題を抱える児童生徒に、こども青少年課と学校、家庭、地域、関係機関が連携を深め粘り強い丁寧な支援が必要である。全小中学校に設置される「学校運営協議会」で幼児児童生徒の現状を共有し、コミュニティー全体で取り組む必要性も痛感している。

教育委員会点検・評価書(令和4年度実施事業)

No	12	事業名	学校給食費補助金交付事業		
担当課	学校給食調理場		有識者	東 健策	
事業概要	保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境整備を図ることを目的として、浦添市立小中学校に在籍する児童生徒の保護者に対し、所得制限を設け学校給食費を全額補助する。				
評価	必要性	有効性	効率性	優先度	
	3	2	2	3	
	A				
成果等	○浦添市立小中学校に通う児童生徒の保護者347人(内訳:児童272人・生徒75人)に対し所得制限を設け補助金を交付することで保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てが出来る環境整備を図ることができた。				
課題	○本事業の財源として「沖縄県子ども貧困対策推進交付金」の交付金が1/2で市の一般財源だけでは事業継続が難しく、財源確保が大きな課題となっている。				
今後の方向	○子育て世代が抱えている保護者の経済的負担を軽減する。 ○環境整備は極めて重要であると認識し、今後財源確保に努める。				
有識者の意見	<p>○本事業で恩恵を受けている保護者にとっては大変ありがたい事業であり、安心して子育てができる環境づくりにつながる事業だといえる。研究者の調査から、子どもの食事、栄養がどれくらい取れているかについては保護者の経済格差が大きいことがわかっている。この格差を埋めるために大きな役割を果たしているのが学校給食であり、貧困状態にある児童生徒が学校給食によって、不足しがちな栄養素であるタンパク質、ビタミンなどを補っているという報告もあり、学校給食の果たす役割は大きい。</p> <p>○貧困率が全国ワーストと言われる本県において、本市が「貧困を自己責任」とするのではなく、経済的に困窮している保護者に対して本事業を通して支援していることは価値のあることであり継続していく必要がある。</p> <p>○全国的に学校給食費無償化の流れが加速している中、どこの自治体においてもその財源確保が大きな課題となっている。本市においても同様であるが、学校給食が成長期にある児童生徒に栄養のバランスのとれた食事を提供し、児童生徒の健康増進、体位の向上及び心身の発達を図ることを目的としていることから継続は重要であり、「食育の推進」という視点からも本事業の継続を強く望む。</p>				

資料

教育委員会会議における議案等一覧

開催回数17回(定例会12回、臨時会5回)

議案46件、報告24件、指名1件

定例会 臨時会	開催日	議案番号	議決	議案名
定例会 定例1	R4.4.8	報告 第1号		専決事項の報告について(教育委員会事務局職員)
臨時1	R4.4.27	第1号	原案どおり 了承	第204回浦添市議会臨時会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
定例会 定例2	R4.5.6	第2号	原案どおり 了承	第201回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
		第3号	原案どおり 承認	教科用図書那覇採択地区協議会委員の指名について
		報告 第2号		専決事項の報告について(教育委員会事務局職員)
		報告 第3号		臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		報告 第4号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
臨時2	R4.5.25	第4号	原案どおり 了承	第201回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
定例会 定例3	R4.6.3	第5号	原案どおり 承認	浦添市新型コロナウイルス感染症防止臨時休校等対策費補助金交付規程
		第6号	原案どおり 承認	浦添市立小学校及び中学校の指定通学区域に関する規則の一部を改正する規則
		報告 第5号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		報告 第6号		専決事項の報告について(教育委員会事務局職員)
			その他 (報告)	
定例会 定例4	R4.7.1	第7号	原案どおり 承認	浦添市特別支援教育就学奨励費規則の一部を改正する規則
		第8号	原案どおり 承認	令和5年度使用小学校教科用図書の採択について
		第9号	原案どおり 承認	令和5年度使用中学校教科用図書の採択について
		第10号	原案どおり 承認	令和5年度小学校・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について
		報告 第7号		臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		報告 第8号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		報告 第9号		令和4年度浦添市教育委員会点検・評価報告について
			その他 (報告)	
定例会 定例5	R4.8.5	第11号	原案どおり 了承	第202回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
		第12号	原案どおり 承認	教育委員会職員の人事について
		第13号	原案どおり 承認	指導主事の派遣に関する内申について
		第14号	原案どおり 承認	令和4年度公立学校管理職途中人事の内申について
		第15号	原案どおり 承認	令和4年度公立学校教職員途中人事の内申について
		報告 第10号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
			その他 (報告)	
定例会 定例6	R4.9.2	第16号	承認	浦添市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針の策定について
		報告 第11号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
			その他 (報告)	
定例会 定例7	R4.10.7	第17号	原案どおり 承認	浦添市立小学校及び中学校の指定通学区域に関する規則の一部を改正する規則
		第18号	原案どおり 了承	第205回浦添市議会臨時会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
		報告 第12号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		報告 第13号		専決事項の報告について(教育委員会事務局職員)

定例会 臨時会	開催日	議案番号	議決	議案名
定例会 定例8	R4.11.4	第19号	原案どおり 了承	第203回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
		第20号	原案どおり 承認	浦添市学校給食費補助金交付規程の一部を改正する告示
		第21号	原案どおり 承認	浦添市立学校における学校運営協議会規則の一部を改正する規則
		報告 第14号		臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		報告 第15号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
定例会 定例9	R4.12.2	第22号	原案どおり 承認	浦添市立学校給食調理場運営に関する規則
		第23号	原案どおり 承認	浦添市立学校給食調理場運営に関する要綱
		第24号	原案どおり 承認	浦添市教育委員会の組織、事務分掌等に関する規則の一部を改正する規則
		第25号	原案どおり 承認	浦添市立学校における学校運営協議会規則の一部を改正する規則の一部を改正する規則
		第26号	原案どおり 承認	浦添市立学校学校評議員設置要綱を廃止する訓令
		第27号	原案どおり 承認	県費負担教職員の内申について
		報告 第16号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		報告 第17号		専決処分の報告について
			その他 (報告)	浦添城跡における発掘調査の現状について
			その他 (報告)	校長連絡協議会の開催状況について
			その他 (報告)	「令和5年浦添市はたちの集い」(旧成人式)の開催について
			その他 (報告)	出張報告について(令和4年度市町村教育委員会研究協議会(第2ブロック)【長崎県】)
定例会 定例10	R5.1.6	第28号	原案どおり 承認	浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則
		第29号	原案どおり 承認	浦添市社会教育指導員設置に関する規則の一部を改正する規則
		第30号	原案どおり 承認	浦添市職員ストレスチェック制度実施規程の一部を改正する訓令
		第31号	原案どおり 承認	浦添市共催及び後援に関する規程
		第32号	原案どおり 承認	浦添市教育委員会に係る行事の共催及び後援に関する規程を廃止する告示
		第33号	原案どおり 承認	浦添市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則の一部を改正する規則
		第34号	原案どおり 承認	令和4年度浦添市教育委員会表彰の被表彰者の決定について
		報告 第18号		臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		報告 第19号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
定例会 定例11	R5.2.3	第35号	原案どおり 了承	第204回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
		第36号	原案どおり 承認	未来へ翔たく太陽っ子育成事業補助金交付規程の一部を改正する訓令
		報告 第20号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
			その他 (報告)	令和4年度沖縄県都市教育長協議会第2回会議の報告
			その他 (報告)	「令和5年浦添市はたちの集い」実施報告
			その他 (報告)	部活動地域移行について
	その他 (報告)	令和4年度浦添市立小中学校卒業式の感染対策の取組について		
臨時3	R5.2.21	第37号	原案どおり 承認	令和5年度公立学校管理職等の定期人事異動の内申について
		第38号	原案どおり 承認	指導主事の派遣に関する内申について
定例会 定例12	R5.2.28	第39号	原案どおり 承認	令和5年度公立学校教職員等の定期人事異動の内申について

定例会 臨時会	開催日	議案番号	議決	議案名
		第40号	原案どおり 承認	公立学校事務職員の昇任内申について
		報告 第21号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
臨時4	R5.3.17	第41号	原案どおり 承認	教育委員会職員の人事について(退職)
		第42号	原案どおり 承認	教育委員会職員の人事について
		第43号	原案どおり 承認	教育機関の長の任用について
臨時5	R5.3.30	第44号	原案どおり 承認	浦添市学校教育情報化推進計画(令和5年度~令和9年度)の策定
		第45号	原案どおり 承認	浦添市教育委員会の組織、事務分掌等に関する規則の一部を改正する規則
		第46号	原案どおり 承認	浦添市子育て支援事業のための学校施設目的外使用取扱規程
		報告 第22号		臨時代理したことを報告し、承認を求めることについて
		報告 第23号		専決事項の報告について(県費負担教職員)
		報告 第24号		専決事項の報告について(教育委員会事務局職員)
		指名		教育長職務代理者の指名について

教育委員の活動状況
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

日付	内容
4月8日(金)	教育委員会定例会(4月)
4月20日(水)	市町村教育委員会連合会第1回理事会(ZOOM会議)
4月27日(水)	第1回教育委員会臨時会 教育委員会議勉強会
4月28日(木)	浦添市青少年健全育成市民会議 令和4年度第36回定期総会
5月6日(金)	教育委員会定例会(5月)
5月11日(水)	教科用図書那覇採択地区協議会
5月25日(水)	第2回教育委員会臨時会
5月27日(金)	令和4年度浦添市育英会評議委員会 教育委員会議勉強会
6月3日(金)	教育委員会定例会(6月)
6月24日(金)	教育委員会議勉強会
7月1日(金)	教育委員会定例会(7月)
7月12日(火)	学校運営協議会・準備会研修会
8月1日(月)	教育委員会議勉強会
8月5日(金)	教育委員会定例会(8月)
8月11日(木)	令和4年度浦添市成人式
9月2日(金)	教育委員会定例会(9月)
9月30日(金)	教育委員会議勉強会
10月4日(火)	学校訪問 港川中学校
10月6日(木)	学校訪問 宮城小学校
10月7日(金)	教育委員会定例会(10月)
10月17日(月)	学校訪問 神森中学校 令和4年度 浦添市コミュニティスクール講演会
10月24日(月)	学校訪問 前田小学校
10月25日(火)	学校訪問 浦西中学校
10月26日(水)	学校訪問 当山小学校
10月28日(金)	教育委員会議勉強会 沖縄県市町村教育委員会研修会 令和4年度那覇地区市町村教育委員会協議会第2回会議
10月29日(土)	てだこまつり
10月31日(月)	学校訪問 仲西中学校
11月1日(火)	学校訪問 沢岬小学校
11月4日(金)	教育委員会定例会(11月)
11月7日(月)	学校訪問 浦添小学校
11月9日(水)	学校訪問 港川小学校
11月10日(木)	学校訪問 浦城小学校
11月11日(金)	学校訪問 牧港小学校
11月14日(月)	学校訪問 神森小学校
11月15日(火)	学校訪問 浦添中学校
11月16日(水)	学校訪問 内間小学校
11月22日(火)	学校訪問 仲西小学校
11月26日(土)	浦添市文化協会「第41回文化祭」
12月2日(金)	教育委員会定例会(12月)
12月23日(金)	教育委員会議勉強会
1月6日(金)	教育委員会定例会(1月)
1月8日(日)	令和5年浦添市はたちの集い
1月25日(水)	令和4年度市町村教育委員会教育長・教育委員研修会

日付	内容
1月27日(金)	教育委員会議勉強会 浦添市てだこ学園大学院「意見発表会」
2月3日(金)	教育委員会定例会(2月)
2月11日(土)	令和4年度 浦添市教育委員会表彰式
2月17日(金)	仲西中学校区夜間街頭指導
2月21日(火)	第3回教育委員会臨時会 県教育委員会指定研究校仲西小学校研究発表会
2月24日(金)	浦添市てだこ学園大学院第32回卒業式
2月28日(火)	教育委員会定例会(3月)
3月11日(土)	仲西中学校卒業式 浦添中学校卒業式 浦西中学校卒業式
3月13日(月)	令和4年度 第1回総合教育会議
3月17日(金)	第4回教育委員会臨時会
3月20日(月)	宮城小学校卒業式 港川小学校卒業式 牧港小学校卒業式
3月24日(金)	令和4年度 長期教育研究成果報告会及び修了式
3月30日(木)	第5回教育委員会臨時会 教育委員会議勉強会

教育長の活動状況
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

日付	内容
4月1日(金)	令和4年度定期人事異動辞令交付式 拡大庁議
4月4日(月)	政策会議 令和4年度 第1回浦添市初任者研修会
4月5日(火)	定例ミーティング
4月6日(水)	業務運営会議
4月8日(金)	教育委員会定例会(4月)
4月11日(月)	政策会議
4月12日(火)	定例ミーティング
4月13日(水)	小中連携担当者研修会
4月14日(木)	表敬訪問
4月15日(金)	事務調整 令和4年度「浦添市婦人連合会」「浦添市交通安全母の会」定期総会
4月17日(日)	沖縄県家庭倫理の会「未来教育フォーラムin沖縄」～未来へつなぐ家庭の薫化～
4月18日(月)	政策会議 令和4年度てだこ学園大学院新学院長就任挨拶のため来訪 不登校児童生徒対策推進委員会 事務調整
4月19日(火)	定例ミーティング 庁議 カーミーゼの海で遊び隊様より新入生への入学祝いパンフレット寄贈式 キンザー小学校関係者来訪
4月20日(水)	市内全児童生徒への歴史本「うらしーんちゅぬ宝～琉球のはじまりの地と歴史・文化～」の寄贈式
4月21日(木)	第1回校長連絡協議会 来客 第45回(令和4年度)浦添てだこまつり実行委員会 令和4年度浦添市民憲章推進協議会総会
4月25日(月)	政策会議 第1回教頭等連絡協議会
4月26日(火)	事務調整 寄贈式 事務調整 てだこ学園同窓会長退任あいさつ
4月27日(水)	第1回教育委員会臨時会
4月28日(木)	「子ども第三の居場所」事業説明会 浦添市交通安全推進協議会総会 暴力団壊滅浦添市民対策会議 浦添市青少年健全育成市民会議 令和4年度第36回定期総会
5月2日(月)	表敬訪問 臨時庁議
5月6日(金)	教育委員会定例会(5月)
5月9日(月)	政策会議 地区退職校長会総会
5月10日(火)	定例ミーティング 教育委員会の点検・評価事業有識者委嘱状交付式 令和4年度浦添市育英会第1回理事会 第1回学力向上推進委員会
5月11日(水)	教科用図書那覇採択地区協議会 全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会

日付	内容
5月12日(木)	全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会
5月13日(金)	全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会
5月16日(月)	第204回浦添市議会臨時会 事務調整
5月17日(火)	定例ミーティング 事務調整
5月19日(木)	第1回情報教育推進委員会
5月20日(金)	庁議 要請訪問 事務調整 事務調整 輝くてだこ市民賞授賞式
5月23日(月)	政策会議 評価者(当初)面談 評価者(当初)面談
5月24日(火)	定例ミーティング 評価者(当初)面談 評価者(当初)面談
5月25日(水)	評価者(当初)面談 第2回教育委員会臨時会 事務調整 第1回浦添市教育支援委員辞令・委嘱状交付式
5月26日(木)	沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会 臨時庁議
5月27日(金)	令和4年度浦添市育英会評議会 教育委員会議勉強会 租税教育推進連絡協議会定期総会 R3高齢者叙勲授与伝達式
5月30日(月)	政策会議 事務調整
5月31日(火)	定例ミーティング
6月1日(水)	業務運営会議
6月2日(木)	神森中学校創立50周年に係る表敬訪問 沖縄県中学校文化連盟表敬訪問
6月3日(金)	政策会議 教育委員会定例会(6月)
6月4日(土)	公益社団法人浦添青年会議所「第4回わんぱく相撲沖縄全島大会」
6月6日(月)	政策会議 琉球大学教育学部附属小中学校表敬訪問
6月7日(火)	第201回浦添市議会定例会
6月8日(水)	議会勉強会
6月9日(木)	議会勉強会 育英会寄付金贈呈式(沖縄メディコ様より)
6月13日(月)	第201回浦添市議会定例会
6月14日(火)	第201回浦添市議会定例会
6月15日(水)	第201回浦添市議会定例会
6月16日(木)	第201回浦添市議会定例会
6月20日(月)	第201回浦添市議会定例会 臨時庁議
6月21日(火)	第201回浦添市議会定例会
6月22日(水)	事務調整
6月24日(金)	教育委員会議勉強会

日付	内容
6月27日(月)	政策会議 事務調整 来客
6月28日(火)	第201回浦添市議会定例会 事務調整 事務調整
6月29日(水)	第20回うらそえツデーマーチてだこウォーク総会 第1回浦添市文化財調査審議会 寄贈式(日本公衆電話会様)
7月1日(金)	教育委員会定例会(7月)
7月5日(火)	定例ミーティング
7月6日(水)	第2回校長連絡協議会 第72回「社会を明るくする運動」総理大臣メッセージ等伝達式 表敬訪問
7月7日(木)	浦添市PTA連合会役員来訪
7月8日(金)	令和4年度浦添市・泉州市小中学生交流事業
7月11日(月)	政策会議
7月12日(火)	定例ミーティング
7月13日(水)	業務運営会議 浦西中学校視察 輝くてだこ市民賞授賞式
7月14日(木)	令和4年度浦添市青少年万引き防止対策・サイバー犯罪防止対策会議
7月15日(金)	浦添市少年の主張大会
7月19日(火)	定例ミーティング 市児童委員(主任児童委員)表敬訪問 庁議 新型コロナウイルス感染症対策会議
7月22日(金)	新型コロナウイルス感染症対策会議 事務調整
7月25日(月)	政策会議 事務調整 事務調整
7月26日(火)	事務調整 アサヒオリオン(株)来訪 小学校へのバヤリース寄贈の報告 北那覇税務署長来訪 事務調整
7月27日(水)	浦添市空手道連盟新役員来訪
7月28日(木)	令和4年度市町村教育長・教育委員研究協議会
7月29日(金)	沖縄県都市教育長協議会第1回会議
7月30日(土)	沖縄県都市教育長協議会第1回会議
8月1日(月)	教育委員会議勉強会 事務調整
8月2日(火)	定例ミーティング 事務調整 来客
8月3日(水)	事務調整 業務運営会議 来客
8月4日(木)	社会福祉法人浦添市社会福祉協議会設置65周年・法人設立50周年記念大会 第45回浦添市社会福祉大会
8月5日(金)	教育委員会定例会(8月) 事務調整

日付	内容
8月8日(月)	政策会議 陽明高校生「夢ひろい」活動報告 事務調整
8月9日(火)	定例ミーティング
8月10日(水)	書籍の寄贈
8月11日(木)	令和4年浦添市成人式(第1部) 令和4年浦添市成人式(第2部)
8月15日(月)	政策会議
8月16日(火)	定例ミーティング 事務調整
8月17日(水)	来客 浦添市立学校適正規模等審議会 答申
8月23日(火)	定例ミーティング 第1回浦添市社会教育委員会議
8月24日(水)	退職辞令交付式
8月25日(木)	市外出張(辞令交付式) 辞令交付式
8月29日(月)	政策会議 第3回アドレット寄贈式
8月30日(火)	定例ミーティング 事務調整
9月2日(金)	教育委員会定例会(9月)
9月5日(月)	業務運営会議
9月7日(水)	第202回浦添市議会定例会
9月8日(木)	来客 議会勉強会
9月9日(金)	議会勉強会 議会勉強会 来客 事務調整
9月13日(火)	第202回浦添市議会定例会 事務調整
9月14日(水)	第202回浦添市議会定例会 臨時庁議
9月15日(木)	第202回浦添市議会定例会
9月16日(金)	第202回浦添市議会定例会
9月17日(土)	令和4年度第25回那覇地区PTA研修会
9月20日(火)	第202回浦添市議会定例会
9月21日(水)	第202回浦添市議会定例会
9月22日(木)	(遺贈)寄贈式
9月23日(金)	第25回浦添市空手道大会
9月26日(月)	令和4年度浦添市育英会第2回理事会
9月27日(火)	第3回校長連絡協議会 来客(九州地区民族芸能大会について事前説明)
9月28日(水)	第202回浦添市議会定例会
9月29日(木)	事務調整 R4高齢者叙勲授与伝達式 神森中学校男子ハンドボール全国優勝報告のため来訪
9月30日(金)	第2回教頭等連絡協議会 教育委員会議勉強会
10月4日(火)	定例ミーティング 学校訪問 港川中学校

日付	内容
10月5日(水)	事務調整 業務運営会議 令和4年度 第51期長期教育研究員入所式
10月6日(木)	学校訪問 宮城小学校 表敬訪問(寄贈) 令和4年度青少年を健やかに育てる浦添市民総決起大会
10月7日(金)	辞令交付式 教育委員会定例会(10月)
10月11日(火)	第76回浦添市戦没者追悼式 決算委員会冒頭あいさつ 校長会から市への要望書提出 事務調整 臨時庁議
10月12日(水)	公民館運営審議会辞令交付
10月13日(木)	令和4年度 第47回浦添市童話・お話・意見発表大会 沖縄都市緑化祭in浦添市
10月14日(金)	史跡浦添城跡整備委員会
10月17日(月)	学校訪問 神森中学校 コミュニティスクール講演会の講師表敬訪問 事務調整 令和4年度 浦添市コミュニティスクール講演会
10月18日(火)	定例ミーティング 来客
10月19日(水)	第34回九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会
10月20日(木)	第34回九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会
10月21日(金)	第205回10月臨時会
10月22日(土)	第35回ライオンズクラブ国際平和ポスターコンテスト展表彰式
10月23日(日)	美ら島おきなわ文化祭2022開会式 第51回全国中学校ハンドボール大会優勝報告会
10月24日(月)	学校訪問 前田小学校 第74回沖縄県民体育大会浦添市代表選手結団式
10月25日(火)	定例ミーティング 学校訪問 浦西中学校 令和4年度 評価者(中間)面談
10月26日(水)	学校訪問 当山小学校 令和4年度 評価者(中間)面談
10月27日(木)	事務調整 令和4年度 評価者(中間)面談
10月28日(金)	教育委員会議勉強会 沖縄県市町村教育委員会研修会 令和4年度那覇地区市町村教育委員会協議会第2回会議 てだこまつり前夜祭
10月29日(土)	第45回浦添市小学校区子ども会対抗ドッチビー大会開会式 第45回浦添てだこまつり てだこ火採火式 てだこまつり開会宣言
10月30日(日)	第45回浦添てだこまつり てだこ演舞まつり 第45回浦添てだこまつり閉会宣言 第45回浦添てだこまつり夜間街頭指導
10月31日(月)	学校訪問 仲西中学校
11月1日(火)	定例ミーティング 学校訪問 沢岬小学校

日付	内容
11月2日(水)	臨時庁議 業務運営会議 海外ウラシーンチュ来訪 世界のウラシーンチュ歓迎会
11月4日(金)	教育委員会定例会(11月)
11月7日(月)	輪島市長、議長、いしかわ百万石文化祭2023輪島市実行委員会視察団来訪 学校訪問 浦添小学校
11月8日(火)	第4回校長連絡協議会
11月9日(水)	学校訪問 港川小学校
11月10日(木)	学校訪問 浦城小学校
11月11日(金)	学校訪問 牧港小学校
11月13日(日)	第64回九州民族芸能大会
11月14日(月)	事務調整 ろうきん浦添地区推進委員会より お米・消毒液等の寄贈式 第1回浦添市立学校業務改善推進委員会
11月15日(火)	表敬訪問(義務教育課)
11月16日(水)	学校訪問 内間小学校
11月17日(木)	臨時庁議 令和4年度 税に関する標語・作文表彰式 南部地区歯科医師会との意見交換会
11月19日(土)	令和4年度単位PTA親睦スポーツ大会 那覇地区善行児童生徒表彰式
11月20日(日)	神森中学校創立50周年記念式典・祝賀会
11月22日(火)	定例ミーティング 学校訪問 仲西小学校
11月24日(木)	総合学習「昔の道具と暮らしを知ろう」民具体験学習 臨時庁議
11月25日(金)	給付奨学金・作文評定について事務調整 第73回沖縄県童話・お話・意見発表大会那覇地区大会
11月26日(土)	浦添市文化協会「第41回文化祭」
11月28日(月)	政策会議
11月29日(火)	事務調整
12月1日(木)	第203回浦添市議会定例会
12月2日(金)	教育委員会定例会(12月) 来客 議会勉強会
12月3日(土)	中央公民館ミニまつり2022 令和4年度 浦添市障がい者・見ふれあいクリスマス会
12月4日(日)	2022年うらそえYA文芸賞表彰式
12月5日(月)	議会勉強会 事務調整
12月6日(火)	臨時庁議 事務調整
12月7日(水)	第203回浦添市議会定例会 民生委員・児童委員の一斉改選における委嘱状及び感謝状伝達式
12月8日(木)	第203回浦添市議会定例会 来客
12月9日(金)	第203回浦添市議会定例会
12月10日(土)	第28回沖縄県中学校総合文化祭
12月12日(月)	第203回浦添市議会定例会
12月13日(火)	第203回浦添市議会定例会
12月14日(水)	第203回浦添市議会定例会

日付	内容
12月15日(木)	事務調整 輝くてだこ市民賞授賞式
12月17日(土)	第67回日本PTA九州ブロック研究大会おきなわ大会・特別分科会
12月19日(月)	教育委員会表彰選考審査会 事務調整
12月20日(火)	第203回浦添市議会定例会
12月22日(木)	令和4年度浦添市育英会第3回理事会
12月23日(金)	国指定重要無形文化財「組踊」保持者及び「琉球舞踊」保持者の追加認定の報 教育委員会議勉強会 来客
12月28日(水)	拡大庁議 事務調整
1月4日(水)	令和5年度 年始会 拡大庁議 業務運営会議
1月5日(木)	令和5年度浦添市消防出初式 2023浦添市新年祝賀会
1月6日(金)	教育委員会定例会(1月)
1月8日(日)	令和5年度浦添市はたちの集い
1月10日(火)	定例ミーティング
1月11日(水)	育英会寄付金贈呈式
1月13日(金)	事務調整 宮城珠算学校全国一表敬訪問
1月15日(日)	浦添市立宮城小学校創立40周年記念式典
1月17日(火)	定例ミーティング 演劇鑑賞会「9人の迷える沖縄人(ウチナーンチュ)」 浦添市民生委員児童委員連絡協議会「令和5年新春の集い」
1月18日(水)	事務調整 神森小学校「食育」研究発表会
1月19日(木)	史跡中頭方西海道及び普天満参詣道整備委員会 第31回暴力団追放沖縄県民大会・暴力団壊滅浦添市民総決起大会
1月20日(金)	令和4年度沖縄県都市教育長協議会第2回会議
1月23日(月)	政策会議 事務調整
1月24日(火)	来客 庁議 ヤクルト球団関係者来訪 事務調整
1月25日(水)	令和4年度市町村教育委員会教育長・教育委員研修会(Zoom) 第68回通常総会並びに2023年度新年意見交歓会
1月27日(金)	教育委員会議勉強会 浦添市てだこ学園大学院「意見発表会」
1月29日(日)	浦添市こども会まつり
1月30日(月)	臨時庁議 第2回まちづくり生涯学習推進本部会議
1月31日(火)	定例ミーティング 書籍贈呈式
2月1日(水)	業務運営会議 訪問
2月2日(木)	第5回校長連絡協議会 事務調整
2月3日(金)	事務調整

日付	内容
	教育委員会定例会(2月)
	事務調整
	事務調整
2月4日(土)	第23回浦添市小中学校美術作品展表彰式
2月6日(月)	政策会議
	令和4年度第2回浦添市情報教育推進委員会
	ビデオメッセージ撮影
	令和4年度第2回不登校等児童生徒対策推進委員会
2月7日(火)	評価者(最終)面談
2月8日(水)	評価者(最終)面談
2月10日(金)	第3回教頭等連絡協議会
	寄附金贈呈式
	事務調整
2月11日(土)	令和4年度浦添市教育委員会表彰式
2月13日(月)	友好都市愛知県蒲郡市行政団 来訪
	臨時庁議
	第2回学力向上推進委員会
2月14日(火)	定例ミーティング
	事務調整
	令和4年度第3回市町村教育委員会教育長連絡協議会
2月17日(金)	令和5年浦添市スポーツ協会功労賞等表彰式
2月18日(土)	第40回浦添市PTA研究大会及び授賞式
2月20日(月)	事務調整
	第74回「沖展」浦添市内小中学生招待券贈呈式
2月21日(火)	定例ミーティング
	第3回教育委員会臨時会
2月22日(水)	第204回浦添市議会臨時会
	第2回浦添市文化財調査審議会
2月24日(金)	育英会寄附金贈呈式
	浦添市てだこ学園大学院第32回卒業式
	議会勉強会
2月27日(月)	議会勉強会
2月28日(火)	定例ミーティング
	教育委員会定例会(3月)
3月1日(水)	第204回浦添市議会定例会
	事務調整
3月2日(木)	第204回浦添市議会定例会
	臨時庁議
3月3日(金)	第204回浦添市議会定例会
3月6日(月)	第204回浦添市議会定例会
3月7日(火)	第204回浦添市議会定例会
3月8日(水)	第204回浦添市議会定例会
3月9日(木)	表敬訪問
	事務調整
3月11日(土)	第39回港川中学校卒業式
3月13日(月)	令和4年度第1回総合教育会議
3月14日(火)	定例ミーティング
	事務調整
3月16日(木)	一般会計予算特別審査委員会
3月17日(金)	第4回教育委員会臨時会
	令和5年度定期人事異動内示(報告会)
	答申 沢岬イリヌカーの文化財指定について

日付	内容
3月18日(土)	第74回「沖展」開会式
3月19日(日)	第74回「沖展」表彰式 第74回「沖展」合同祝賀会
3月20日(月)	令和4年度 卒業式
3月23日(木)	臨時庁議
3月24日(金)	令和4年度浦添市防災会議 令和4年度 長期教育研究成果報告会及び修了式
3月26日(日)	浦添少年少女合唱団2022年度定期演奏会
3月27日(月)	第204回浦添市議会定例会 臨時庁議
3月28日(火)	定例ミーティング 表敬訪問
3月30日(木)	表敬訪問 第5回教育委員会臨時会
3月31日(金)	那覇地区退職者辞令交付式 令和4年度退職辞令交付式 拡大庁議

点検・評価を終えて

令和 5 年度の「教育委員会点検・評価書」がまとまりました。

「教育委員の活動評価」については、新教育委員会制度導入に伴い、平成 30 年度から教育長への評価も加え、項目ごとにABCの評価を行う自己評価方式を導入しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止を図りながら、新たな時代に即した企画、運営に取り組んでいる学校や関係機関、職員、また、様々な地域課題に対して、保護者の皆様、地域住民の方々に多方面でのご協力を頂きました。

毎月行われている教育委員会議においては、審議の活性化、深化を図るため事前の議案資料の読み込みや、自主的な学習の場を設けるなどして会議に臨み充実を図ってきました。また、毎年実施している学校訪問では、市内 16 校で GIGA スクール構想や ICT 機器の充実によるオンライン授業が日常的に行われており、児童生徒の居場所に関わらず同時に配信できる授業形態は今後の学校教育に大きな示唆を与えるものと実感しました。さらに、学校教育から社会教育につながるデジタル化の推進により、多くの事業が次の時代へ充実、発展していくものと期待いたします。

「教育長への委任事務評価」については、重点施策と位置付ける事業の中から 12 事業を精選し、各事業主管課で 4 つの観点で自己評価を行い、総合評価を出して頂きました。その上で、有識者による外部評価を行って頂きました。

12 事業のうち 10 事業については、主要事業として前年度から継続して評価対象事業といたしました。事業全体としては、前年度の評価も踏まえ着実に推進されたと思われます。中には、前年度の有識者の提言を受け、課題改善に向けて取り組まれた事業もありました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により事業の縮小や変更を余儀なくされることも多々あり、有識者からは当該職員への労いと激励、さらに、今後の事業推進へのご提言をいただきました。

今後は、事業ごとに確認した内部評価をもとに、課題や今後の方向性、更には有識者による指摘や助言を真摯に受け止め、施策の着実な実現に向け効果的な教育行政の推進に努めてまいりたいと思います。

結びに、有識者の下地安広様、長田隆子様、東健策様には、令和 5 年度の「点検・評価」にあたり、書面のみならず、担当部署や関係者への聞き取り、現地調査、関係資料の読み込みなど精力的に取り組まれ、大所高所からのご助言、ご意見を頂きましたことに衷心より厚く感謝を申し上げます。

浦添市教育委員会